

令和8年度 経営協議会（第2回）議事要録

日 時 令和8年6月5日（金） 13時35分から15時25分

場 所 3号館2階第1会議室

出席者 【委 員】 吉本学長（議長）

赤松委員、奥村委員、小畑委員、京藤委員、鈴木順也委員（Web出席）、西本委員

堀内委員、増田委員、真下委員、森田委員、山下委員、金尾委員
【陪席者】 白須監事、速見監事、乾顧問

総務企画課長、人事労務課長、財務課長、施設環境安全課長、
学生支援・社会連携課長、入試課長、監査室長

議題1. 第4期中期目標・中期計画の進捗状況の自己点検・評価結果について

吉本学長から、第4期中期目標・中期計画の進捗状況の自己点検・評価結果について資料1に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。なお、今後、文言等の修正が生じた場合には議長に一任することとされた。

本件に関し、委員より以下の質問があった。

- ・ 評価指標の達成状況で未達成の項目がいくつかあるが、今年度と来年度のうちに達成することは可能か。
→論文データベースによる Top10%以内論文割合は、論文の引用実績が必要であり、短期間での改善は難しい。また、国際共著論文割合についても、まず国際共同研究を開始する必要がある、残り2年間での達成は難しい。
- ・ 留学生受入、学生海外派遣については、参加者数が伸びていない要因を分析し、学生目線での広報や在籍している留学生、SNSの活用など、新たな方策を検討しているのか。
→実績としては増加傾向にあるものの、目標達成には至っていない。今後、要因を分析し、今後の施策を検討したい。
- ・ 国際共著論文の割合を高める方策として、国際会議への参加費用を大学として支援する制度はあるのか。
→学生の研究発表に対する支援制度はあるが、教員に対する支援は十分とは言えない。外部資金を獲得できている研究室では海外派遣が進んでいる一方、そうではない研究室は海外派遣が難しくなっているが、大学の自己資金による支援には限界がある。
- ・ 以前、女性教員の割合が分野によって偏りがあると伺ったが、その状況は改善されているのか。
→今年度の教員人事では、女性教員比率が一定以下の組織に対し、原則として女性教員を1名以上採用する方針としており、解消に向けて取り組んでいる。

議題 2. 第 4 期中期目標期間の業務実績評価（4 年目終了時評価）に係る「達成状況報告書」及び「業務実績報告書」（案）について

吉本学長から、第 4 期中期目標期間の業務実績評価（4 年目終了時評価）に係る「達成状況報告書」及び「業務実績報告書」（案）について資料 2－1 から 2－5 に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。なお、今後、文言等の修正が生じた場合には議長に一任することとされた。

議題 3. 令和 7 事業年度決算について

真下財務担当理事から、令和 7 事業年度決算について資料 3－1 から 3－4 に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。なお、今後、文言等の修正が生じた場合には議長に一任することとされた。

本件に関し、委員より以下の質問があった。

- ・ 外部資金収入の割合は全国の国立大学と比較した場合にどのようなものか。
→主に工科系単科大学で構成される国立大学 B グループの中では、中位程度である。
- ・ 総利益の主な要因は何か。
→最も大きいのは人件費の未執行であり、人事不成立が主な要因である。他には光熱水費に対する政府補助等により、当初見込みより支出額が減少したものである。
- ・ 資金運用における金利上昇の影響はあったか。
→関係規則を改正し、運用額を拡大したことにより、以前より運用益が上がっている。
- ・ 資金運用の基準は変わったのか。また、運用リスクはどのように考えているのか。
→従前より、資金運用は元本保証のあるものに限定し、比較的利率の高いものを選定して行っている。
- ・ 外部資金について、他大学の公的資金と民間資金の割合との比較分析を行っているか。また、本学の立地が外部資金の獲得に影響を及ぼしている可能性はあるか。
→外部資金に占める公的資金と民間資金の割合を比較したものはないが、科研費や共同研究費といった種別ごとの獲得額で比較した場合、いずれの種別においても国立大学 B グループの中位程度に位置している。また、立地によるハンディキャップがないとは言えないため、URA 等の育成が今後の課題と考えている。

議題4. 役員期末手当について

真下理事から、学長に係る役員期末手当の増減について資料4に基づき説明があり、審議の結果、6月期における学長の役員期末手当については、10%増額として支給することとなった。

続いて、吉本学長から、理事及び監事に係る役員期末手当の増減について資料4に基づき説明があり、審議の結果、6月期における理事、及び監事の役員期末手当については、10%増額として支給することとなった。

本件に関し、委員より以下の質問があった。

・ 他大学や世間相場との比較は行っているのか。

→他大学で公表されている資料等を分析したが、給与水準の違い等があり、本学の役員期末手当の妥当性、客観性についての根拠は得られなかった。

報告事項1. 令和8年度入試の実施状況について

堀内入試担当理事から、資料5に基づき報告があった。

報告事項2. 令和7年度卒業・修了者の進路状況について

金尾学生支援担当副学長から、資料6に基づき報告があった。

配付資料

- 資料1－1 第4期中期目標・中期計画の進捗状況の自己点検・評価結果（案）概要
- 資料1－2 第4期中期目標・中期計画の進捗状況の自己点検・評価結果
- 資料2－1 第4期中期目標期間の業務実績評価（4年目終了時評価）に係る「達成状況報告書」及び「業務実績報告書」（案）について
- 資料2－2 「達成状況報告書」「業務実績報告書」要約
- 資料2－3 中期目標の達成状況報告書
- 資料2－4 京都工芸繊維大学中期目標の達成状況報告書別添資料
- 資料2－5 第4期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書
- 資料3－1 令和7事業年度決算概要
- 資料3－2 令和7事業年度財務諸表（案）
- 資料3－3 令和7年度決算報告書（案）
- 資料3－4 令和7年度事業報告書（案）
- 資料4 役員期末手当について（案）
- 資料5 令和8年度入試の実施状況について
- 資料6 令和7年度卒業・修了者進路状況
- 参考資料 令和8年度経営協議会開催日程（予定） 他